

フォーラム特集第3弾 7/6 沿岸南部教育事務所管内 「地域とともにある学校づくり推進フォーラム」

大船渡市立立根小学校の志田知美校長先生より「陸前高田市立竹駒小学校の学校運営協議会～未来に向けての『人づくり』～」と題して、前任校でのコミュニティ・スクールの立ち上げについて発表いただきました。

【志田校長先生の発表より】

◇委員の人選について

- ・竹駒地区には、しっかりとした地域の組織があるので、その組織から委員を人選するなどして、地域との連携をより図りやすくするようにしました。
- ・学校運営協議会委員には、応援団というよりも、チームのプレーヤーというイメージで共に関わってもらっています。

◇熟議について

- ・第1回の協議会では、「竹駒町の子育て（未来に向けて『人づくり』）の誇れる点と課題」について熟議を行いました。
- ・第2回の協議会では、第1回の熟議で話題になった、子育て課題の共有と重点設定・取組について話し合いをしました。
- ・第3回の協議会では、「あいさつ」と「安全の取組の具体」について熟議を行いました。

◇学校評議員との違い

- ・これまでは、学校評議員（開かれた学校づくり推進委員会）がありましたが、より広い関係機関が委員となることで、各方面に広がりがあり、より強固に学校を支援していただけるようになりました。

◇地域と連携・協働した活動

- ・「全校農園」「運動会支援（テント・仮設トイレ設置等）」「地域学習への協力」「登校時避難訓練」「語り継ぐ会」「祖父母に学ぶ会」などの取組に協力をいただき、活動を充実させています。
- ・現在も、地域の方々は自分事としてとらえて、学校と地域が連携・協働しています。



【藤嶋茂美氏からの助言より】

- ①委員の人選は大事。既に連携している組織を活かしているのがよい。
- ②学校運営協議会は、学校評議員会よりも課題解決のスピード感がある。
- ③第1回の協議会の話題を第2回につなげているのがよい。前回の話題がどうなったかの報告があると、委員のやりがいにつながる。
- ④実際に児童の活動を見ていただいているのがよい。実際に見ていただくことで同じ課題意識で解決に向かうことができる。
- ⑤校長がこの制度はよいものと感じて利用しているのがよい。「なぜ、わざわざ新しい制度を・・・」という気持ちがあると機能しない。導入する目的を明確にすることが大事。

本通信は下記ホームページに掲載しています。（※ダウンロード可能）

岩手県生涯学習情報提供システム「まなびネットいわて」

<http://www2.pref.iwate.jp/~hp1595/>



「まなびネットいわて」には、文部科学省が作成したパンフレットや全国の事例紹介があります。また、岩手県が作成した資料や県内の事例等の紹介もあります。ぜひ、ご覧ください。